

事業実績書

団体名	小鯖地域づくり協議会
-----	------------

1 地域づくりの活動方針(テーマ)

地区住民および各種団体が連携・協力して、豊かで住みよい安全な 地域づくりを進める。

2 今年度、重点的に取り組んだ視点(事業)

①	視点	第4次地域づくり計画策定に向け、組織団体を含め地域づくりの仕組み・取組み課題の見直し「第4次地域づくり計画策定」に取り組む。		
	事業名	小鯖これからプロジェクト	決算額	計) 137,310円
②	視点	いつ発生するか予測できない自然災害に対する、地域の防災意識の向上に努め、具体的な防災訓練、避難所運営資材を充実させ各種の自主訓練に役立てる。(自主訓練の充実)		
	事業名	自主防災支援事業	決算額	計) 132,750円
③	視点	高齢化を迎えた現実を直視し、地域住民・家族への具体的サポートや知識の向上、地域の助けあい等の支援が出来る環境づくり		
	事業名	高齢化社会に向けた施策	決算額	計) 21,023円

3 今年度の重点的視点(事業)に対する評価

検証(成果、来年度以降への改善点等)	自己評価
①小鯖これからプロジェクト：第4次地域づくり計画の策定に向け策定委員会を発足させ、構成委員から選抜したメンバーによるコア会議を編成し、これからの地域づくりの指針となる第4次地域づくり計画の策定となった。5年度以降は、この地域づくり計画に基づき、毎年度振り返りとして事業を検証し、次年度以降に反映できるよう取り組む。	◎
②自主防災支援事業：本年度はコロナ感染防止を図りながら、梅雨時期に併せ豪雨災害の状況を想定し、地域の街歩きを行って、防災意識として避難のタイミングやその際の注意点等を考える研修を行い成果を得た。また、広報紙紙面を活用し情報発信(我が家のタイムラインとして自主避難の注意点、避難手段、日頃の備え等)等を行った。令和5年度も引き続き地域防災力の向上と意識を高める活動を推進する。	○
③高齢化社会に向けた施策：高齢者を抱える家族に対する事業として認知症サポーター講習を北東地域包括支援センターの協力で実施した。高齢者のひきこもりを減らす取組みとして、高齢者対象のグランドゴルフ大会を計画し、約50名の参加を得た。第4次地域づくり計画に盛り込まれた「助け合いの仕組みづくり」の支援について、運営委員会を設置し具体的活動が見えてくるところへ引き上げる。	◎

◎(大変よくできた) ○(概ねできた) △(課題が残った) ×(全く出来なかった)

4 総括

今年度は、第4次地域づくり計画の策定作業と並行し負担の多い年となったが、負担軽減からコア会議を設置し、協議の結果を全体会に諮って進める等、プロセスをしっかりと維持し策定に至った。各部会はコロナ対策を図りながら事業を進めたが、全般に参加者等が減っていた。次期計画の遂行にあたり、協議会体制、委員(部会)構成についても刷新し、第4次を迎える準備は整った。5年度は第4次の一年目であり、全委員等の意見を集約しながら新たな進め方に挑戦する。

5 事業内容

(1) 協議会運営

事業費	5, 505, 978円
事務局の運営体制	<p>(事務員等の雇用人数): 事務局長 1名、事務局員 2名 計 3名</p> <p>(運営費の主な内容): 事務局人件費、事務費、通信費、各事業費の管理、広報活動 他</p> <p>(成果・評価): 年間を通じて滞りなく事務局運営を行った。</p> <p>(今後に向けて): 令和4年度に取り組んだ第4次地域づくり計画策定は、全委員等の協力を得て完成した。5年度からその推進に向け事務局の立場でけん引する。</p>

(2) 地域振興

事業名	2-① 助け合い・支え合い活動の立ち上げに向けて
事業費	0円
事業概要	<p>(実施内容): 地域住民有志による助け合いの仕組み勉強会実施。その結果も含め委員会の発足を見た。今後は具体的検討に移る。</p> <p>(実施時期): 令和4年度4月～10月は油脂の勉強会、コア会議を設置しての調査検討を実施し、11月以降福祉関連団体等及び有志による検討会を上げた。</p> <p>(参加人数): 約13名</p> <p>(成果): 参加者には高齢化の問題を再認識すると共に、行政サービスの限界を伺い、地域での共助の仕組みの必要性を理解出来た。次年度は本格的スタートと位置付け実りある運営委員会としたい。</p> <p>(評価): 有償ボランティア活動となる事を前提に進めているが、速度を増して進捗している。</p> <p>(今後に向けて): 第4次計画を推進しつつ、地域の機運を高める。</p>

(3) 地域福祉

事業名	3-① 生きがいづくり支援
事業費	19, 796円
事業概要	<p>(実施内容): 高齢者生きがいセンターを活用したさばろっち交流広場活用のPR(高齢者同士の交流)活動、健康や生きがいを醸成するグランドゴルフの支援に取り組んだ。</p> <p>(実施時期): 「さばろっち交流広場」常時開設。健康グランドゴルフ(10月16日)</p> <p>(参加人数): 「さばろっち交流広場」の利用者数は約300人/年で減少傾向(里の駅にも集いの場が出来たため)。「健康グランドゴルフ」(38人)。</p> <p>(成果): グランドゴルフは大会としてでなく健康増進を目標にしたもので、参加者は楽しくプレー出来、目的を達成した。</p> <p>(評価): コロナの影響もあり、高齢者の集まりに影響があった。</p> <p>(今後に向けて): 継続して活動すると共に、関連団体等との共催や異年齢との交流が出来るよう支援していくことが必要と考える。</p>

事業名	3-② 高齢者サポート
事業費	1, 227円
事業概要	<p>(実施内容): 高齢者認知症を家族に持つ家庭向けサポート研修・講習を計画した。</p> <p>(実施時期): 認知症サポーター講習会(2/25)開催した。</p> <p>(参加人数): 17名</p> <p>(成果): 北東地域包括支援センターの支援を受け、高齢者サポート講習として、家族への研修と位置付けを行った。参加者は真剣に受講し成果を見た。</p> <p>(評価): -</p> <p>(今後に向けて): 引き続き北東地域包括支援センターが推進する「地域包括ケアシステム」とタイアップした形で検討を進め、的を得た活動を推進したい。</p>

(4) 安心・安全

事業名	4-① 生活安全対策
事業費	0円
事業概要	<p>(実施内容): 自治会長の協力を得て、空家の実態を調査を実施した。福祉委員協議会の理解のもと、少人数防災教室(サロン)を開催した。</p> <p>(実施時期): 空家調査(8月~11月)、調査結果説明(12月2日) サロン 10/23,2/19</p> <p>(参加人数): 空家:23地区自治会長を通じて、対象1,900戸を調査</p> <p>(成果): 空家としての確認は124戸。その内、防火防犯上対応が必要なもの 4戸。地区自治会で対応が難しいため、山口市に対応を依頼した。少人数サロン防災講座は、福祉委員の百歳体操時に併せて実施し好評。</p> <p>(評価): 高齢社会の中、また、人口減少と共に空家問題は深刻化する。一定の成果を得ているが地域の対応の限界がある。</p> <p>(今後に向けて): 地域の安心安全につながる事業として重要であるが、事業を継続するのは限定的になると思われる。</p>

事業名	4-② 交通安全対策
事業費	59, 100円
事業概要	<p>(実施内容): 地区内において交通安全上、危険と思われる個所の調査を各地区自治会の協力を得て調査した。</p> <p>(実施時期): 交通上危険な個所の調査 調査期間(7月~8月末)、調査結果説明(12月2日)、関係機関への要望(9/28)</p> <p>(参加人数): 部会委員、交流センター、地域住民等 現地確認時は、市、県、警察を含む。</p> <p>(成果): 交通危険箇所情報 5件申請があり、警察等と立会い調査も行き、その後標識・表示の改善がそれぞれ対応された。横断歩道表示の再塗装がされ安全につながると考える。</p> <p>(評価): この取組みは4年継続している事業で、地域住民から安全上大事な取組みと評価を得ている。</p> <p>(今後に向けて): 少子高齢化が特に進む小鯖地内は危険と思われる個所が多い。引き続き活動を続ける。</p>

(5) 環境づくり

事業名	5-① 地域環境整備（萩往還整備、鳴滝河川プール整備、正田山の環境整備）
事業費	43,984円
事業概要	<p>(実施内容)：小鯖地区住民ボランティア、往還道語り部の会他協力を得て歴史の道「萩往還道」周辺(重点的に山口防府市境の佐波山トンネル地区の約800m)の草刈り等の整備、また鳴滝河川プール開き前に周辺の草刈り整備を実施。</p> <p>(実施時期)：萩往還整備年2回(6月18日、10月15日)、鳴滝河川プール(7月16日)</p> <p>(参加人数)：萩往還(6月19日55名、10月16日45名)、鳴滝河川プール(17人)</p> <p>(成果)：この取り組み事業は7年を経過し、萩往還や鳴滝河川の環境保全の意識も高くなり、一定の参加者数が確保出来、定着化してきている。</p> <p>(評価)：萩往還コースの美観環境を守ることは散策者の増加につながる。また、自然の中の河川プールということで、市外からの家族連れも多く見られる。</p> <p>(今後に向けて)：小鯖の財産である萩往還、鳴滝河川プールの整備は、継続して行う。</p>

(6) 地域個性創出

事業名	6-① ニュースポーツ等の振興
事業費	5,220円
事業概要	<p>(実施内容)：ニュースポーツ(クップ、カヤック、クライミング)の体験会を企画し実施した。</p> <p>(実施時期)：10月30日</p> <p>(参加人数)：10人(小学生を対象)</p> <p>(成果)：新しいスポーツに親しめる機会を増やす事に繋がった。特に地域内の企業と共催し、企業の地域貢献にもつながった。</p> <p>(評価)：参加者からは、今後も体験会を重ね、人の交流が広がることを期待する声があった。また企業や団体の協調が生まれる事は地域発展につながると考える。</p> <p>(今後に向けて)：スポーツの既成のルールにとらわれず、皆が楽しめる新しい楽しみ方を考える事を検討する。担当者の負担軽減を考慮した計画づくりに取り組んでいく。</p>

(7) 小鯖地域自主防災会

事業名	7-① 小鯖自主防災訓練・研修の推進事業
事業費	10,650円
事業概要	<p>(実施内容)：コロナ禍で実施できる訓練内容を絞り込み計画した。屋外で災害を想定した街歩きを行った。安心安全部会のサロン講座に協力した。</p> <p>(実施時期)：梅雨の末期となる時期を考え、7月3日に行った。</p> <p>(参加人数)：17名</p> <p>(成果)：梅雨時期に設定し、街歩きを実施した。平成21年豪雨災害から、被害状況を説明し現地での研修となり、12年前を思い起こすきっかけになった。</p> <p>(評価)：3年越しの参加者を交えた訓練研修となり、災害について再認識する機会となった。</p> <p>(今後に向けて)研修・訓練等を継続し、地区単位の防災活動も支援する。災害時の最悪、最低の状況を想定した研修に触れることで、防災意識の向上に努めていきたい。</p>

事業名	7-② 災害発生防止対策事業
事業費	0円
事業概要	(実施内容):コロナ禍のため具体的活動は控えた。地域広報紙へ防災コーナー欄を設け、我が家のタイムラインと題し各家庭の意識向上につなげた。 (実施時期):6月初旬の発行に併せた。 (参加人数):— (成果): (評価):— (今後に向けて):次年度は、自主防災研修等の計画とも合わせ、実施する。

事業名	7-③ 避難時必要資材充足
事業費	122,100円
事業概要	(実施内容):避難所運営に関連した資材補充を行なった。 (実施時期):令和4年10月～令和5年2月 (参加人数): — (成果): 高齢避難者に対応した簡易ベッドの購入。 (評価):— (今後に向けて):避難時に必要と思われる資材を主に補充していく。

(8) 補助・助成事業

事業名	8-① 地域活性化事業
事業費	51,090円
事業概要	(実施内容):3年ぶりのふるさとまつりに向け、地域の活性化とアピールを目的に小鯖写真コンテストを実施した。 (実施時期):令和4年9月～11月 (参加人数): 応募作品37点 (成果): 11回を数えるコンテストとなり定着を見ている。コロナの影響で縮小した開催であったが、来場者からも好評で応募作品の評価も上がりつつある。 (評価): — (今後に向けて):審査方法検討及び技術向上のための研修の機会を設ける。

事業名	8-② ふれあい配食
事業費	94,160円
事業概要	(実施内容):「ふれあい配食」弁当の衛生管理、食中毒発生防止の観点から、まな板の更新支援をした。また、電子レンジの故障による更新を行った。 (実施時期):ふれあい配食(10、12月、3月実施) (参加人数):毎回 約100食を配布。 (成果): 独居高齢者の見守りも兼ねた取組みであり、少ない配食回数ではあるが、地域の高齢者対策の一環として感謝されている。 (評価): — (今後に向けて):調理や食中毒対策に対応した器具補充を継続して取り組むと共に、支援団体の意見を取り入れ協調していく。

事業名	8-③ 小鯖地域敬老会(送迎バス代助成)
事業費	0円
事業概要	(実施内容):小鯖地区社会福祉協議会の事業である小鯖地区全体の敬老会開催計画で推進したが、コロナ感染拡大防止の観点から本年度も中止となった。 (実施時期): — (参加人数): — (成果): — (評価): — (今後に向けて):今後も地区社協と強調し計画的に実施する。

事業名	8-④ 子育てサロン支援
事業費	14, 548円
事業概要	(実施内容):地区内住民の要望に応え、子育てについて若い親の相談相手をする「子育て支援活動」(実施主体:子育て支援連絡協議会)の、特に会議費、支援者の昼食等を助成した。 (実施時期):毎週木曜日(10:00~15:00) (参加人数):毎週約3組程度 (成果):「子育て支援」に関する意見が毎回多く出ている。コロナ感染への心配から参加者が減少した。 (評価): — (今後に向けて):継続して「子育て支援活動」を支援する。対象乳児の減少から参加者が減っているが必要な支援と考える。

事業名	8-⑤ 小鯖っ子見守り隊支援
事業費	117, 000円
事業概要	(実施内容):小鯖っ子の登下校時の安全を確保する見守り活動を、年間通じて行なっている。 (実施時期):令和4年4月~令和5年3月 (参加人数): 現在見守り隊登録の会員数は、約85名。恒常的に活動する者は、延べ15名/日 (成果):交差点、横断歩道等の立哨、登下校に同行、作業や日常生活の中で往来する児童の見守りを行ったが、特に事故や事件の発生もなく一定の成果を得ている。 (評価):安心感の醸成に繋がると共に、地区住民からは感謝されている。三佐者の高齢化が課題である。 (今後に向けて):見守り隊員の高齢化が進み隊員数は減少しつつある。継続して取り組んでいるが、高齢化による活動休止、地域によっては通学路を通う児童がいない等により活動の必要性が無いとの声もあるが、統一された服装は地域の防犯にもつながることを踏まえ継続する。

事業名	8-⑥ 青色防犯パトロール活動の支援
事業費	98, 606円
事業概要	(実施内容):基本的巡回時間を設け、地域内を車で見守り巡回を実施し、地域の事故防止や児童の防犯・安全対策として活動を継続する支援者に対し、燃料代等を補助する。 (実施時期): 毎週1回巡回 令和4年4月 ~ 令和5年3月 (参加人数):活動メンバー 10人 交代で参加 (年間約4,500km走行) (成果):巡回パトロールは地域の防犯・事故防止に効果があると同時に、地域住民の意識の醸成に繋がっている。 (今後に向けて):地区内の防犯や事故防止の活動と協調し、安心・安全な地域の実現に取り組む。

事業名	8-⑦ 防犯灯設置推進補助
事業費	20,000円
事業概要	<p>(実施内容):新規・取替え設置 4地区10灯に対し、各2,000円を助成した。</p> <p>(実施時期):年間</p> <p>(参加人数): 取付自治会からの申請に基づき 10件の補助金を交付した。</p> <p>(成果):夕暮れ、夜間の通学又生活道の安全の確保として成果を見ている。</p> <p>(評価):市が行う補助と併せて自治会の負担軽減につながると共に、地域内の安全確保につながる。</p> <p>(今後に向けて):地域内の防犯対策の観点から、今後も助成を継続する。</p>

事業名	8-⑧ 花いっぱい運動推進
事業費	0円
事業概要	<p>(実施内容):地区内公共の花壇整備をする各団体(自治会、子ども会を除く)に対し、その整備費用に対して助成する。</p> <p>(実施時期):年間</p> <p>(参加人数):0件</p> <p>(成果):他団体の活動も有り、今年度は成果を見なかった。</p> <p>(評価):</p> <p>(今後に向けて):環境美化事業は次年度以降も継続して実施予定。個人、団体問わず助成する。</p>

事業名	8-⑨ 一斉清掃活動推進
事業費	135,000円
事業概要	<p>(実施内容):自治会内の道路・河川・広場等の清掃を、共同で活動を実施する自治会団体に対し、その整備費用に対して助成した。(各地区、年2回まで)</p> <p>(実施時期):令和4年4月～令和5年3月</p> <p>(参加人数):延べ27地区 (年2回まで助成)</p> <p>(成果):各自治体単位で計画的に実施され、環境美化維持に貢献。</p> <p>(評価):小鯖地区全体として、様々な補助を活用した清掃活動により一年を通して整備されている。取組の定着が更に期待できる。高齢化による参加者減少を懸念している。</p>

事業名	8-⑩ 猫・TNR活動補助
事業費	5,000円
事業概要	<p>(実施内容): 飼い主のいない猫を増やさないように、地区内の有志サークルで取り組むTNR活動費用の一部を補助した。</p> <p>(実施時期): 令和4年7月～令和5年3月</p> <p>(参加人数): 1団体取組み (1匹)手術</p> <p>(成果): 生き物に対する飼い主の責任、地域猫への対応等についての認識が高まりつつある。</p> <p>(評価):</p> <p>(今後に向けて): 猫の繁殖は想像以上のものがある。動物愛護の観点からも、TNR活動を進めるとともに継続してPRを進める。</p>

事業名	8-⑪ 小鯖夏まつり
事業費	360,000円
事業名	小鯖ふるさとまつり
事業費	766,650円
事業概要	<p>(実施内容): 地域住民及び帰省者等が交流する夏まつり、ふるさと祭り等の地域の一大イベントに対する助成を実施。</p> <p>(実施時期): 夏まつり中止、ふるさとまつり11/20 規模縮小して実施</p> <p>(参加人数): 延べ1,000名(関係者、地域住民、来訪者他)</p> <p>(評価): —</p> <p>(今後に向けて): まつり開催助成の継続的実施。</p>

事業名	8-⑫ 若者のびのび事業
事業費	7,153円
事業概要	<p>(実施内容): 若い世代が主体になった企画の提案、特に地域活性化に繋がる事業について取り上げ、助成を行う。</p> <p>(実施時期): 令和4年5月～11月</p> <p>(参加人数): 延べ12名</p> <p>(成果): 若い世代を中心に、小学校創立150周年を記念し、ジオラマの作成を行い世代を超えた一体感を醸成した。</p> <p>(評価): —</p> <p>(今後に向けて): 新規事業の創出に取り組むと共に、本事業のPRを進め、次年度は小学生にも本事業に積極的な参加を促し、より地域の一体感を醸成する。</p>

事業名	8-⑬ さばろっち活動
事業費	0円
事業概要	<p>(実施内容): ゆるキャラ「さばろっち」(着ぐるみ)を活用し、地域内の行事等で老若男女問わず活性化させ、また、地域外のイベントにも積極的に参加しその場を盛り上げ、小鯖のPR活動に努める。</p> <p>(実施時期): 令和4年5月 ~ 令和5年3月</p> <p>(参加人数): -</p> <p>(成果): コロナ禍での運用を考察し、貸し出しを行った。(小鯖幼稚園、小学校行事へ支援)部外への参加はなかった。</p> <p>(評価):</p> <p>(今後に向けて): ボランティアメンバーの活動で大変苦勞が多いが、メンバー補充をしながら幅広く活動できるよう進める。誰でも使用できるマニュアルを作成し平易に使えるように工夫していく。</p>

事業名	8-⑭ 竹馬世界選手権大会
事業費	14,459円
事業概要	<p>(実施内容): 竹馬を通じ、世代や地域を越えた交流の場の提供と、「小鯖の竹馬」のブランド定着化推進による小鯖のPR活動</p> <p>(実施時期): 令和4年10月～令和5年2月</p> <p>(参加人数):</p> <p>(成果): 3年連続の中止となっている中で地域ボランティアの激減もあり、協議の結果、当面の開催を中止とした。</p> <p>(評価): -</p> <p>(今後に向けて): 地区外からの交流も増え小鯖の文化を保存する意味で、小鯖伝統の手作りの竹馬は、今後も継承する。本事業のような、多くの人の関わりで運営する取組みを、他の事業でも参考にして進める。</p>

事業名	8-⑮ 社会教育協賛
事業費	103,030円
事業概要	<p>(実施内容): 中学校区域の子供たちの健全育成運動への協力活動(大内小鯖地域協育ネット)、鳴滝河川プールの維持管理</p> <p>(実施時期): 大内小鯖地域協育ネットの活動支援(令和4年4月～11月)</p> <p>(参加人数): 小中学生、地域住民、各施設関係者等220名</p> <p>(成果): PR用啓発ポスター配布で、地域の子供は地域で育てるとの意識向上を図ることが出来、地域学習支援によって、子供自身の自己有用感や地域愛の醸成に繋がっている。</p> <p>(評価): -</p> <p>(今後に向けて): 大内小鯖地域協育ネット活動に対して、今後も協力して行く。鳴滝プール維持管理活動については、自然との一体感や清流の中での活動等が出来るという観点から取組みを継続する。</p>

事業名	8-⑩小鯖これからプロジェクト
事業費	137,310円
事業概要	<p>(実施内容):第4次地域づくり計画策定に向け、各地域団体の長による策定委員会を設置し、コア会議、理事会等の段階的協議の場を設け、策定に向けた協議をした。第4次地域づくり計画の策定、併せて、要約版を作成した。</p> <p>(実施時期):4月～12月の間に委員会を5回実施した。計画は、コア会議及び理事会で決定する仕組みとし予定通り策定した。</p> <p>(参加人数):各地域団体の長等、事務局、交流センター地域担当リーダー、合計28名で構成した。</p> <p>(成果):第4次地域づくり計画策定案を12月に、細部構成、全体計画を2月までに作成し、3月中旬には要約版を印刷し、令和5年4月初旬各家庭に配布予定。</p> <p>(評価):各関係者、特に構成委員には、積極的な協議が出来、地域のまとまりを感じた。</p> <p>(今後に向けて):新たな計画の推進について、進行管理を徹底し着実に遂行していく。</p>

事業名	8-⑰ 掲示板・反射鏡設置補助
事業費	100,000円
事業概要	<p>(実施内容):掲示板設置・・・地域コミュニティ活動の促進を目的とするもの。反射鏡設置・・・里道等に、交通事故防止の目的で設置するもの。これらの事業についての助成。</p> <p>(実施時期):令和4年5月～令和5年3月</p> <p>(参加人数):掲示板設置1件 反射鏡設置1件。</p> <p>(成果):掲示板設置により、生活情報が多くの地域住民に提供出来た。反射鏡については、里道との交差点に設置し地域の安全確保に繋がった。</p> <p>(評価):</p> <p>(今後に向けて):地域の要望に応じて、継続して推進する。</p>

その他

事業名	予備費
事業費	0円
事業概要	<p>(実施内容):</p> <p>(実施時期):</p> <p>(参加人数):</p> <p>(成果):</p> <p>(評価):—</p> <p>(今後に向けて):</p>

(注) 事業概要の欄には、事業の目的、事業内容、実施時期、参加予定者数等の項目で概要を記載してください。